

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 10  
2023・8・14

1 汎ヨーロッパ森林大臣会議：ウクライナの森林と林業部門を支援  
ードイツはウクライナの林業支援に 50 万ユーロ（約 7500 億円）ー  
(2023・8・2)

森林ヨーロッパプロセスは、ウクライナに対する連帯のシグナルを送る。汎ヨーロッパ森林大臣プロセス「林業ヨーロッパ」のドイツ議長職権限に基づいて、ドイツ連邦食料・農業省は「ウクライナの森林と林業部門の復旧と持続可能な管理の支援」イニシアチブを、全ての大臣決定によって開始した。



同時に「林業ヨーロッパ」プロセスは、ウクライナに対する連帯の強いシグナルを發した。ボンに設立された「林業ヨーロッパプロセス」の事務局は、現在署名国、オブザーバー並びにウクライナ当局の支援を受けている。そしてウクライナ林業部門において初めて、このイニシアチブの実施に取り組んでいる。

このイニシアチブはウクライナの森林と林業部門を、侵略戦争の間中またはその後の再建も目指している。その際、森林と林業部門の現状を考慮のもとに、ウクライナの管轄局に再建対策の優先順位を確認し、財政支援のための可能性を探る。

ウクライナにおける現在の相互的、そして多国間プロジェクトの相乗作用の活用と並んで、ウクライナにおける持続可能な森林管理強化のための特別な推奨事項が策定されている。林業部門における画期的な支援プロセスのために、連邦食料・農業省の支援として最も迅速な対策として、500 000 ユーロ（約 7 500 億円）を準備している。他の国や組織も支援することを期待している。このプロセスの最終報告書は、継続支援のために FAO に送付した。



ロシアの砲弾でウクライナの森が焼かれた。この森には数百人が埋葬された。



ウクライナにモミの木の森を再び。

林業部門の再興が大きな課題

2 獣医学：2022年抗生物質の調剂量（獣医引渡し量）がさらに減少  
ー 2011年の調査以来抗生物質の量が1/3に減少ー（2023・8・3）

獣医に対する抗生物質の2022年の調剂量は、前年対比で新たに約61t減少した。ドイツにおけるこの調剂量は、前年よりもさらに減少して（-10.1%）540tとなった。2011年に初めて調査して以来、この期間内で約68%の減少となった。



特に喜ばしいこと：それは人の治療に 家畜への抗生物質の投与が年々減少  
極めて重要なフルオロキノロン、第3世代、  
第4世代（訳注・薬の開発順位）のセファロスポリン及びコリスチンの調剂量が  
新たに減少したことである。

- ー 抗生物質フルオロキノロンの調剂量は、前年対比で約0.6t減少して、5.0tとなった。これは10.1%の減少に相当する。
- ー 第3世代と第4世代のセファロスポリンは、1.1tとなった（-0.1tないし-10.8%）。

ー ポリペプチドは（主にコリスチン）も調剤量が同じく減少している。2022年の総量は44 tで前年比で-6.8 tで-13.3%であった。

この結果について連邦食料・農業省政務官のシルビア ベンダーが述べた：“ 獣医への抗生物質の引渡し量の減少は、まず第一に良い報告である！家畜飼育者への抗生物質提供量の減少傾向は、安定している。昨年における全体供給量は、2011年に把握調査が始まって以来、1/3に減少している。これは我々の国内削減対策の著しい成果である。だがしかし、同時に農業における家畜飼育数の減少も生じている（特に豚の減少）。このため、抗生物質の実質的な使用量をもっと減らすという、一層の努力が必要である。私はこのことに確信をもっている。”

オズデミール大臣の提出した家畜薬剤法の改正が、2023年1月1日に発効している。我々はこれをもって、抗生物質をやむを得ない使用にのみとどめるよう、獣医と家畜飼育者にシグナルを発した。これまで供給した抗生物質の大部分は、ペニシリンとテトラサイクリンが占めていることが判明した。この作用物質について、前年比でペニシリンが約7 t、テトラサイクリンが約35 tの削減を記録した。また、スルホナミドが9 tの減少であった。”

抗生物質に対する抵抗性の拡大（静かなパンデミック）は、人間と獣医学においてグローバルな脅威である。これに反対するために国内とともに、ヨーロッパの国境を越えた規定が緊急に必要である。そのため、連邦食料・農業省はさらにEUレベルでの取組みを強化する。ヨーロッパにおける獣医薬品規則は、なお欠けている部分に対して可能な限り早く着手すべきである。家畜への抗生物質使用のためのヨーロッパ全体の制限措置を計画している。

### さらなる情報

2011年以来、薬学の会社と卸売はドイツの獣医に対して毎年供給する抗生物質の量を、連邦消費者保護食品安全局（BVL）に報告する義務を課せられている。総供給量の大部分は、幾つかの家畜の種類に対して一括して承認されている。このため、個々の畜種毎に具体的に割当てすることは困難である。2022年の供給量の減少が、家畜数（特に豚）の減少による部分も多いことから、確実に評価することは難しい。養豚場の数が昨年は1910経営、10.1%減少して1694経営となっている。

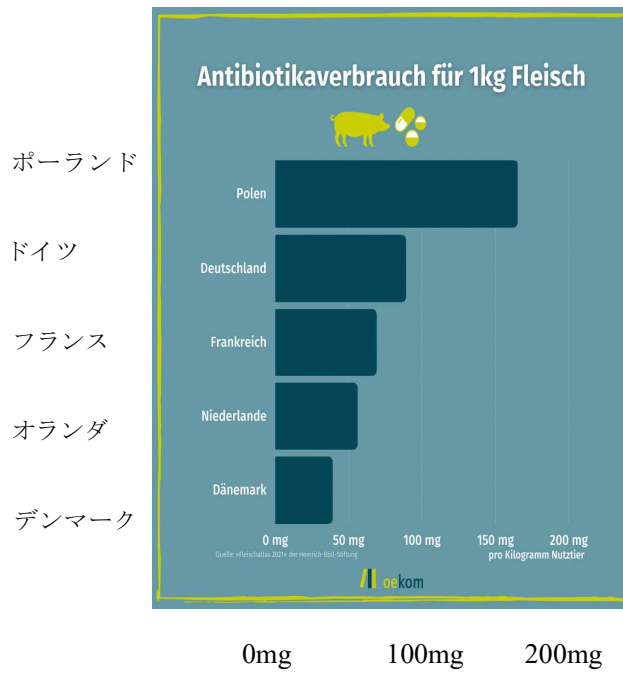


的を絞った抗生物質の  
予防接種する獣医



2011 2017 2018 2019 年  
ドイツの家畜飼育における抗生物質  
の年次別使用量の変化

国別の肉 1 k g に対する抗生物質使用量

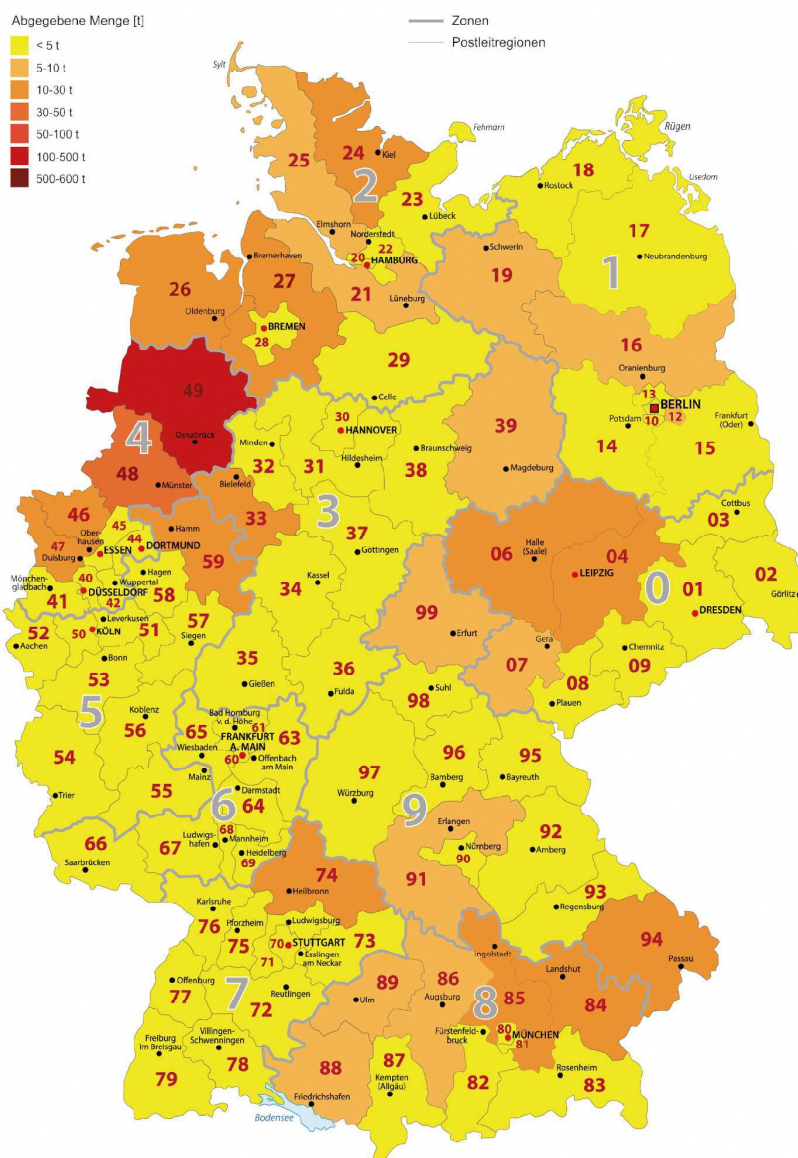




# ドイツ全土における抗生物質提供量

—— 地域区分  
 —— 郵便番号区域

抗生物質  
 供給量 ( t )  
 黄色 5 以下  
 10~30  
 橙色 30~50  
 50~100  
 100~500  
 赤 500~600



© Bundesamt für Verbraucherschutz und Lebensmittelsicherheit (BVL)

### 3 連邦食料・農業省：健康な鶏飼育のための抗生物質削減の研究奨励

—大学や研究機関による共同研究に 84 万ユーロを提供— (2023・8・3)

連邦食料・農業省は、ブロイラー飼育経営における健康被害のための連邦政府のプログラム「家畜飼育共同プロジェクト」に、約 84 万ユーロ（約 1 億 2 600 万円）を拠出する。連邦食料・農業省政務官クラウデア ミュラーが、今日（8 月 3 日）プロジェクトに参画するロストック大学において、奨励決定通知を手渡した。



ブロイラーに抗生物質を飲水投与

この奨励は抗生物質投入の持続的な削減に大きく貢献をする。この共同計画は、ロストック大学、ルードビッヒー マクシミリアン大学、ハノバー獣医科大学財団そしてフリードリッヒレフラー研究所によって策定された。

この共同計画は、バイオセキュリティ（防疫対策）並びに全体的衛生の最適化を通じて、ブロイラー飼育経営における鶏の健康改善に貢献する。この計画の目的は、ブロイラー経営内のリスク分野での科学的知見の普及と、経営管理における最適化の可能性を確認し、そして細菌感染症発生の頻度を低下させ、同時に抗生物質の使用を持続的に低下させることに貢献する。



ブロイラーは飼育規模が大きく、衛生管理に抗生物質の使用頻度が高い。



有機ブロイラーは戸外飼育が多い。



プロジェクトに参加するロストック大学      ロストック大学のバクテリア研究室

#### 4 連邦食料・農業省：2023 年度オープンデーを開催

—連邦食料・農業省の中庭で蜜蜂の巣箱を訪問—      (2023・8・7)

農業は良い食をつくる：持続的に！  
これは 2023 年 8 月 19 日~20 日のオープンデーのモットーである。ベルリンの連邦食料・農業省において、テーマ・良い食事、家畜飼育、気候保護そして持続可能な農業のテーマについて、来場者が直接情報を入手できる。



2023 年度オープンデーのモットー  
農業は良い食をつくる： 持続的に！

例えば、持続可能な食料がどのように生産できるか、将来的にどのような家畜飼育か、気候保護のためになぜ森林と湿地が重要なのか、なぜ有機栽培が特に気候に優しいのか、といったことが体験できる。我々のベルリンオフィスは、ヴァイルヘルム通り/フランス通り角（フランス通りからアクセスできる）にある。

#### 他の連邦各省のドアーも開いている

”政府は招待する”のモットーのもとに、連邦首相官房、連邦各省庁、連邦報道局が、「政策の裏舞台」に焦点をあてて広範な情報提供を行う。

#### 庁内の案内と蜜蜂の巣の訪問

多くの実践的な参加に加えて舞台裏への焦点もまた、訪問者から評価されている。両日とも手話による案内が行われる（両日とも 15 時から）。

蜜蜂ファンは農業省の庭にある蜜蜂の巣箱を、訪れることができる。そこでは養蜂家からミツバチに関する多くの知識や体験を見聞できる。ここでも手話通訳で案内が行われる（土曜日 11:00 日曜日 12:30）。

### テーマ分野と展示

4つのテーマ分野における連邦食料・農業省の業務とテーマについて、参加者の関心事とそれに続く分野の情報を提供する。

テーマ分野：美味しい食べ物

- 一 連邦消費者保護・食料安全局（BVL）スーパーフード（訳注）の情報  
いわゆる スーパーフードは本当にどれくらい素晴らしいのか？  
（訳注・一般の食品よりもビタミン、ミネラル、アミノ酸など、いわゆる必須栄養素を多く含む、主に植物由来の食品）
- 一 マックス ループナー研究所（MRI）は、ニュートリー スコア（食品の 5 段階栄養表示）と食料の含有成分の情報提供。さらに自分でケチャップをどのように作るかを展示する。
- 一 連邦栄養センター（BZfE）は、植物性蛋白資源を紹介し、食と気候の関連性を説明する。
- 一 連邦情報センター（BZL）は、蛋白作物のテーマに関するクイズと情報を提供する。蛋白作物戦略は、豆類が真の気候オールラウンダーであることを示している。
- 一 IN FORM 一健康で持続可能な料理のためのヒントでもって、より多くの運動と健康な栄養のためのドイツイニシアチブの紹介。そして日常における健康な運動の奨励、そして共同の調理活動、栄養と運動（ped）を伴ったキッチンパーティ紹介。
- 一 “"ゴミ箱には良すぎる！”は、食料の無駄を減少するためのヒントを示す。
- 一 フラウエン ホーファー研究所は、プロセス光学と包装（パッケージ）について、エンドウ豆をバースとしたチーズ代替品プロジェクトを、デモンストレーションする。



#### テーマ分野：持続可能な農業

- ー 連邦農業・食料局（BLE）における有機ラベル情報センターが、ミューズリーパック（エンバクなど穀物とドライフルーツを混ぜたシリアル食品）の有機ラベルを説明する。
- ー 「連邦プログラム有機農業」は、有機農業実証経営のネットワークを紹介する。
- ー 生物多様性情報センター（IBV）が、古いそして新しい品種の多様性を説明する。
- ー カーセル大学のプロジェクト BAWERT は、異種的小麦個体群でもって気候変動のような課題に、農業が役立つことができることを示す。
- ー 畑作協会 e.V.が自然と食料のより多くの価値評価のための革新的な教育プログラムを紹介する。

#### テーマ分野：家畜飼育

- ー ノルトライン・ヴェストファーレン州農業会議所は、ハウス デュッセ研究教育センターとともに、対話式の見学を計画している。将来を見据えた家畜飼育を展示している。
- ー プロジェクト FitForCows は、畜舎におけるデジタル化によって、家畜の健康を改善することができることを紹介する。
- ー Mit-Mach-Modul 将来を見据えた家畜飼育を展示し、特に家畜の福祉を家畜飼育の中に調和させる。

#### テーマ分野：気候保護

- ー チューネン研究所（TI）は、湿原土壌と気候保護のテーマで紹介する。
- ー 再生可能原料専門エージェント e.V.(FNR)は、園芸におけるビート（泥炭）削減のテーマと、森林の生態系機能保全の意義を説明する。
- ー ユリウス キューン研究所（JKI）は、テーマ「忍耐強い都市の街路樹」と都市での蜜蜂奨励を紹介する。
- ー 連邦品種局（BSA）とドイツ林業苗床協会は、バラの健康と抵抗力について紹介する。

#### ステージプログラム

トーク、音楽、料理ショー：ステージ上でもドアが開かれている。あなたはここで様々なプログラムを見聞きすることができる。

過去の年におけるオープンデーの写真



ベルリン・連邦食料・農業省 毎年多くの来場者で賑わう。ステージではトークショー



誰でも自由に大臣室を見れる。中庭ではミツバチを飼育 廃棄物による発電施設を見学  
当日は養蜂家が説明する。



テーマ分野・美味しい食べ物 テーマ分野・持続可能な 農業 触れて見て農業を。された未来の畜舎を体験  
テーマ分野・畜産 デジタル化



テーマ分野・気候保護 未来の農業は AI で 連邦首相府では前メルケル首相が  
中庭で歓迎の挨拶

## 5 砂糖・脂肪・塩分過多の食品広告から子供達を保護する法規制

— 太り過ぎ・肥満そして糖尿病への連鎖を断ち切る — (2023・7・25)

子供達の保護—両親の指導力を強化：連邦食料・農業省は子供向けの食品広告について、明確にそして拘束力（義務）のある法律制定に取り組んでいる。同時に我々の政権協約を実行する。なぜならば、子供を対象とした食品広告は多すぎる砂糖、脂肪そして塩分を含んだ、高度に加工された食品を推奨しているからである。



子供達は日常的にメディアの食品広告に接している。

そのような食品の過度な飲食は、栄養と結びついた病気（例えば肥満から糖尿病へ）になり、その結果社会的に高額なコストの原因となる。食品広告は14歳以下の子供達について、栄養行動に持続的な影響をもたらす。この年代の子供達は、特にメディアの広告による推奨に影響を受けやすい。一方、両親は自分の子供達を広告から守る可能性が極めて少ない。その際、まさに子供の年代においてさらに次の栄養行動を決定的に特徴づける。

子供たちを守るために両親の指導力を高め、そして日常生活の中での安心をもたらし、より良い栄養環境づくりに貢献させること。このことによって、子供達が健康で成長することができる。そのため、多くの重要メディアは、砂糖、脂肪または塩分を高度に含有した食品の広告を、子供たちを対象にすべきではない。これまで自動的に自己責任で業界規定していたが、これでは子供達に影響を及ぼすネガティブな広告効果から守ることは出来ない。

### 数字と背景：メディアを利用している子供達と青少年への影響

- ドイツにおける3歳から7歳までの年齢で約15%（200万人弱の子供たちと青少年）が太り過ぎで、その内6%が肥満である。
- 高度な砂糖、脂肪又は塩分含有の食品を、平均して15のスポットコマーシャルをテレビやインターネットで子供達が毎日見ている。コロナーパンデミックが始まって以来、3歳から17歳のメディア利用は70%に上昇している。



- ー 子供達がテレビやインターネットで目にする食品広告の平均 92%は、ファーストフード、スナックそして甘いお菓子である。
- ー ソーシャルメディアやインフルエンサーによる食品の販売は、益々大きな役割を發揮している。ウィーン医科大学の研究によれば、宣伝されている食品の77%が砂糖、脂肪そして塩分が高度な含有量であった。これらは子供や青少年に販売すべきでないとの勧告している。

### 太り過ぎと肥満防止等の予防政策

- ー 幼年時代に栄養習慣が決まり、そしてその後の健康のための基盤がおかれる。そのため、この人生段階は持続的に効果のある対策のための決定的な出発点である。
- ー 子供や青少年は多くの甘いお菓子とスナックを推薦の約 2 倍食べ、そして野菜と果実は半分のみである。
- ー ドイツにおける社会全体で肥満に関する直接的、間接的な経費が年間 630 億ユーロ（約 9 兆 4 500 億円）と推定されている。
- ー 連邦食料・農業省は子供達のために、多すぎる砂糖、脂肪そして塩分を含んだ食品に関する広告について、連邦全域に有効となる規則の制定に取り組んでいる。

連邦大臣オズデミールは、2023 年 2 月 27 日に子供達を対象にした食品宣伝のために、明確で義務づけられた規則制定の計画を公表している。現在、子供達に対するこの規則は他の連邦大臣との調整を行っている。



甘いお菓子や塩分過多の食は太り過ぎに。



ポズナン・子供の好きなチョコバー  
メディアでの宣伝を規制する。



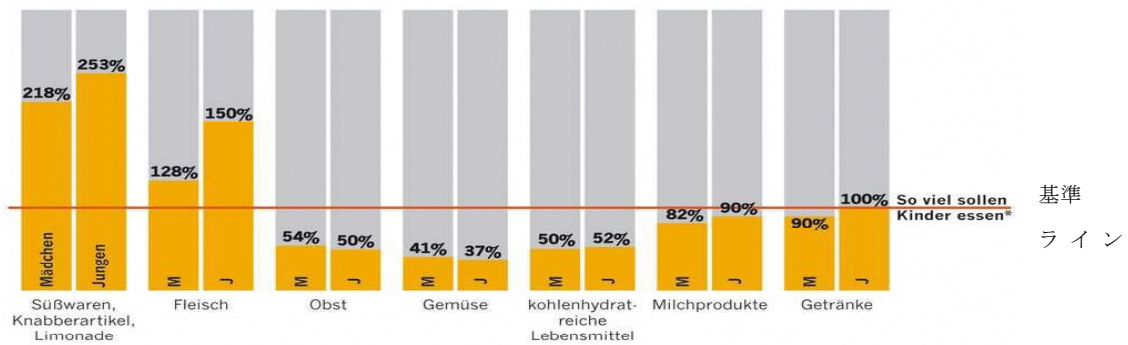


大人になって肥満そして糖尿病の発症が多い。

ドイツでは太った子供の数が急激に増加している。

6~11 歳の子供達は何を食べているか？

**WAS ESSEN 6 BIS 11-JÄHRIGE KINDER?**



Quelle: Ernährungsstudie als KiGGS-Modul (EsKiMo), Robert-Koch-Institut 2008, S.55  
 \*Die Grafik bildet das Verhältnis der vom Forschungsinstitut für Kinderernährung empfohlenen Verzehrsmengen für verschiedene Lebensmittelgruppen (100% / rote Linie) und der realen durchschnittlichen Verzehrsmenge (Prozentangabe jeweils Medianwert) ab

女男 女男 女男 女男 女男 女男 女男  
 甘い菓子 スナック食品 肉 果物 野菜 炭水化物の豊富な食品 乳製品 飲み物  
 清涼飲料

資料：ロベルト コッホ研究所 (2008 年)

2023年8月10日 訳  
 青森中央学院大学  
 地域マネジメント研究所  
 中川 一徹

